

いちご病害虫情報第11号(4月)

平成27年4月17日
栃木県農業環境指導センター

単位: %

		炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	萎黄病	アブラムシ類	ハダニ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ幼虫	アザミウマ類(花)	備考
ほ場率 (%)	発生ほ場数	1	3	3	12	14	33	30	0	33	総調査ほ場数: 63か所 総調査株数: 1,575株 (調査株数 25株, 調査花数 100花) ○今月の病害虫発生状況○ ・うどんこ病の発生はやや少です。 ・萎黄病の発生が例年より多くのほ場でみられています。 ・アブラムシ類の発生が例年より多くのほ場で見られます。 ・ハダニ類、アザミウマ類の発生は平年並ですが、ほ場間差が大きく、一部で多発ほ場が見られます。
	本年平均値	1.6	4.8	4.8	19.0	22.2	52.4	47.6	0.0	52.4	
	平年値	0.4	13.9	7.9	4.4	8.6	58.9	48.4	0.1	56.6	
	(本年平均値/平年値) × 100	400.0	34.5	60.8	431.8	258.1	89.0	98.3	0.0	92.6	
株率 (%)	発生株数	0	2	2	0	46	205	199	0	243	
	本年平均値	0.0	0.1	0.1	0.0	2.9	13.0	12.6	0.0	3.9	
	平年値	0.0	1.1	0.7	0.1	1.2	22.4	14.8	0.0	4.9	
	(本年平均値/平年値) × 100	-	9.1	14.3	0.0	241.7	58.0	85.1	-	79.6	
概 評		平年並	やや少	やや少	平年並	多	平年並	平年並	少	平年並	

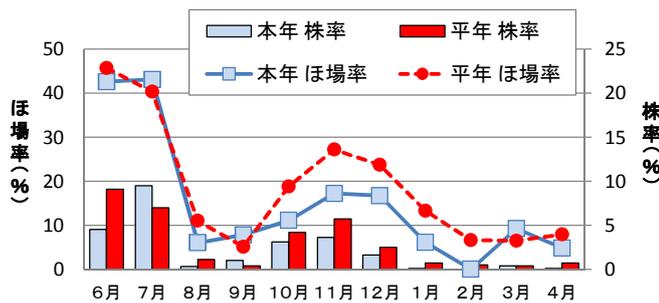


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

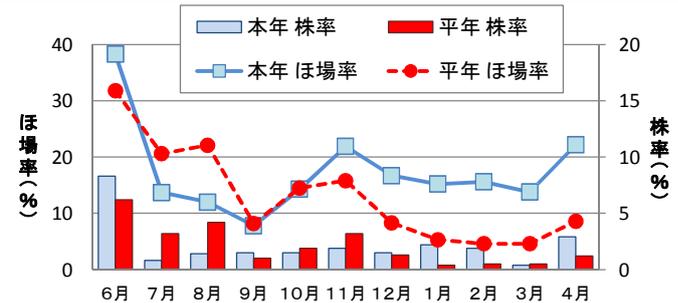


図2 アブラムシ類発生ほ場率・株率

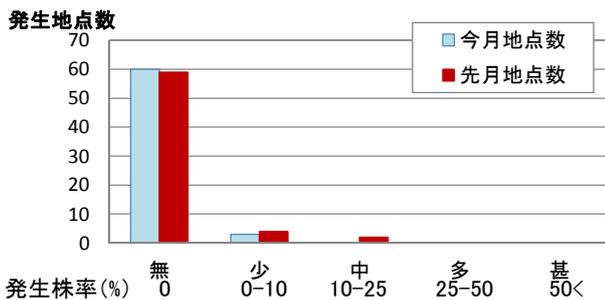


図3 発生程度別の地点数(うどんこ病)

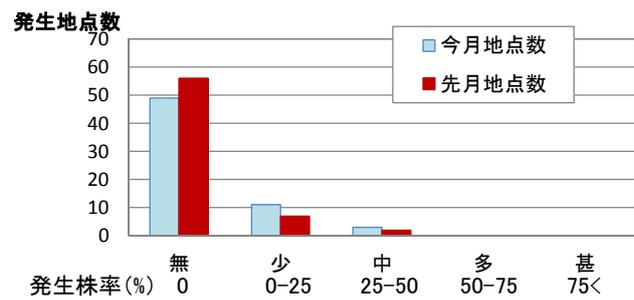


図4 発生程度別の地点数(アブラムシ類)

○うどんこ病対策

- ・適正な温度管理、換気やかん水等を実施する。
- ・発生が見られる場合は、トリフミン水和剤やフルピカフロアブル等を散布する。

○アブラムシ対策

- ・発生が見られた場合は、モスピラン顆粒水溶剤、ウララDF等を散布する。



写真 ワタアブラムシの寄生

○今月の技術情報(技術指導班)○(4月)

- ・27年産いちごは、3月は気温が高めに推移し収穫量が回復してきたが、気温や日照時間がめまぐるしく変化中、生育にバラツキが見られます。
- ・害虫はアブラムシ類の発生が平年よりも多く見られますが、ハダニ類、アザミウマ類は平年並になっています。病害は平年並またはやや少ない傾向にあります。しかし、不順な天候が続くと、病害虫の発生が懸念されます。今後の適期防除が今シーズンのお荷量、収入に大きく影響を与える可能性があります。
- ・引き続き、ハウス内の適正な温湿度管理、下葉かきなど環境整備に努め、最後まで良好な生育、品質の良いいちごの生産に努めましょう。
- ・一方、次年産親株の管理が始まりました。作柄安定には良質苗の確保が重要です。親株ハウスの温度やかん水管理を徹底するとともに、本ほから病害虫を持ち込まないように十分注意しましょう。